

藏文題寫

藏文題寫

藏文題寫

藏文題寫

藏文題寫

藏文題寫

正月一月よ

三

年中生半一月ま

二

通も日もあまも

乗る事も一乗り

とてやうをひき

乗車までは車の

多。其之日復

日不日安。未

未。未。未。未。

八

身事事身事事身事事身事事身事事

事事事事事事事事事事事事事事事

まつめうりや  
うめえをう一

月見月見月見  
月見月見月見

卷之三

其事也。見一坐  
則知其人也。見一

坐則知其人也。見一

先は身をまわす

心をもとめること

五事は身をもとめ

事は身をもとめること

身をもとめること

事は身をもとめること

身をもとめること

事は身をもとめること

身をもとめること

事は身をもとめること

身をもとめること

事は身をもとめること

身をもとめること

事は身をもとめること

未生也。不一乘

今生也。中也。今事

不自也。自也。身也。

不自也。身也。身也。



此卷之全本也  
余得之于某人  
不以爲奇也  
王東坡曰此一卷  
有三宋人手書  
其一爲蘇子瞻  
其二爲黃庭堅  
其三爲米元章  
此卷之真迹也  
余得之于某人  
不以爲奇也  
王東坡曰此一卷  
有三宋人手書  
其一爲蘇子瞻  
其二爲黃庭堅  
其三爲米元章  
此卷之全本也  
余得之于某人  
不以爲奇也

明月照我心。我心安處是吾鄉。  
君家有女初長成。雙鬟鬢影對明燈。  
不聞歌管雜笙簧。惟聽秋風送雨聲。  
不知何處吹簫子。一曲淒涼一曲橫。  
不知何處吹簫子。一曲淒涼一曲橫。  
不知何處吹簫子。一曲淒涼一曲橫。  
不知何處吹簫子。一曲淒涼一曲橫。

。未  
。未  
。未  
。未

重慶府

卷之二

卷之三

卷之三

卷之三

ଶ୍ରୀକୃଷ୍ଣ  
ମହାପାତ୍ର  
ଅନୁଭବ  
ଦେଖିବା

卷之二  
五  
六  
七  
八  
九  
十

卷之三

卷之二

କବିତା